

2026年10月26日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 小 野 測 器
代表者名 取締役社長 大越 祐史
(コード番号 6858 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員 戸谷 敏啓
(TEL. 045-514-2601)

「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」の 交付決定に関するお知らせ

株式会社小野測器（代表取締役社長 大越 祐史）は、自動車用動力伝達技術研究組合（以下「TRAMI」）との共同提案により、2026年7月30日（木）付で国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下「NEDO」）が公募する2026年度「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」の交付決定を受け、その後の協議を経てこのたび開発に着手いたしましたのでお知らせいたします。

本事業では、モータの超高回転化（5万rpm超）を核に、電動パワートレインの革新的な超小型化を実現する共通技術基盤を確立し、自動車産業の国際競争力強化および脱炭素社会の実現を目指します。

記

1. 補助事業採択テーマ情報

スキーム・フェーズ	NEDO 2026 年度「脱炭素社会実現に向けた省エネルギー技術の研究開発・社会実装促進プログラム」重点課題推進スキーム/フェーズ I
テーマ名	モータの超高回転化による自動車用超小型電動パワートレイン技術の開発
実施体制	TRAMI, 株式会社小野測器
総事業費	約 25 億円、内当社分 11.4 億円（2028 年度迄合計）
交付予定額	7.5 億円（当社分、2028 年度迄合計） 注）本件は限度額であり、交付額は今後検査等を踏まえて確定されます

2. 補助事業の背景と目的

電気自動車（EV）をはじめとする電動車の普及拡大に伴い、電動パワートレインの小型・軽量化は、車両走行時の電費改善や資材の節約に直結する極めて重要な技術課題となっています。従来は1〜2万rpm級が主流であったモータ回転数は海外メーカーを中心に3万rpm級へと引き上げられつつありますが、国際的な競争力を担保するためには既存の延長にとどまらない技術的ブレークスルーが求められています。

本事業では、従来の技術水準を大きく超える5万rpm超の超高回転化と減速システムの統合により、自動車に搭載可能な革新的超小型電動パワートレイン技術の実用化を推進してまいります。

当社は、日本国内の主要自動車メーカーを中心とする関連各社に対し、半世紀以上にわたり自動車用評価設備や計測機器を継続的に納入しております。特に自動車用評価システムにおいては、累計 2,000 台以上の納入実績があります。また、FFT アナライザをはじめとする解析装置を自社開発しており、各種振動現象に対する解析技術も備えております。当社が持つ評価設備や計測・解析技術に関する多様な経験と知見を背景に、超高回転電動パワートレインの評価システムの構築を担当し、本事業の社会実装に向けて取り組んでまいります。

3. 業績への影響

本件の当期業績に与える影響はありません。来期以降の事業進捗状況及び受給状況等により業績に影響を与える事象が発生すると判断した場合には、速やかに開示いたします。

以 上